

氏名	田中健一	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	神経科学（生理学・薬理学・病態生化学・実験心理学）・医療薬科学				
学位	博士（医学）・薬学修士				
学歴	1989年：東京理科大学薬学部薬学科卒業，1991年：東京理科大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程修了				
経歴	1995年：埼玉医科大学医学部助手，1998年：岡山大学医学部助手，2003年：就実大学薬学部助教授，2007年：就実大学准教授，2011年：埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本生理学会（評議員）・日本薬理学会（学術評議員）・日本神経精神薬理学会（評議員），日本薬学会 他				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Effect of exercise on muscle protein and mitochondrial function in mice model of skeletal muscle atrophy	共著	あり	Int. J. Anal. Bio-Sci. Vol. 7: 19-25.	Maruoka, H., Tanaka, K., Zenda, M., Ogawa, A., Kido, S. and Inoue, K.	2019
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	嗜癮傾向評価尺度の妥当性と関連する心理的特徴に関する検討	共同	第54回日本アルコール・ア ディクション医学会学術総 会（札幌）	田中健一，佐藤晋爾，金野倫子	2019.10	
2	運動期間の違いが肺胞やサイトカインにおよぼす影響について－COPD廃用モデル	共同	第56回日本臨床生理学会総 会（さいたま）	丸岡弘，田中健一，高柳雅朗，善田聡 史，小川明宏，木戸聡史	2019.10	
3	大学生における嗜好及び嗜癮傾向と関連する心理的特徴に関する検討	単独	第93回日本薬理学会年会 （横浜）	田中健一	2020.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	生理学	○	16コマ・2開講	複数の学科専攻の学生を対象とした必修科目である点を考慮して，授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し，学生の理解を助けるとともに，学習意欲の維持に努めた。		
2	薬理学	○	8コマ・2開講	複数の学科専攻の学生を対象とした必修科目である点を考慮して，授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し，学生の理解を助けるとともに，学習意欲の維持に努めた。		
3	臨床薬理学	○	8コマ	薬理学とのつながりと看護学科の専門必修科目である点を考慮して，授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し，学生の理解を助けるとともに，学習意欲の維持に努めた。		
4	生理学特論	○	16コマ	生理学とのつながりと理学療法学科並びに作業療法学科の専門必修科目である点を考慮して，授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し，学生の理解を助けるとともに，学習意欲の維持に努めた。		
5	保健医療福祉研究法特論		2コマ	大学院博士前期課程の共通科目であることに加えて，2コマのみ分担する点を考慮して，特定のテーマ<医科学研究法>に絞って授業を行うことで，学生の理解を助ける工夫と学習意欲の維持に努めた。		

6	応用人体構造機能論		2コマ	大学院博士前期課程の共通科目であることに加えて、2コマのみ分担する点を考慮して、特定のテーマ<自律神経系>に絞って授業を行うことで、学生の理解を助ける工夫と学習意欲の維持に努めた。
7	保健医療福祉学際英語		1コマ	大学院博士前期課程の共通科目であることに加えて、1コマのみ分担する点を考慮して、特定のテーマ<実践編1>に絞って授業を行うことで、学生の理解を助ける工夫と学習意欲の維持に努めた。
8	高次脳機能と病態制御	○	8コマ	大学院博士前期課程の共通科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生のニーズを初回授業で確認し、出来る範囲で授業に反映させて、学習意欲の維持に努めた。
9	加齢神経運動機能論	○	4コマ	大学院博士後期課程の共通科目である点を考慮して、授業ごとにポイントをまとめたプリントを作成し、学生のニーズを初回授業で確認し、出来る範囲で授業に反映させて、学習意欲の維持に努めた。また、試みと

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法特別演習		1コマ	理学療法学科の4年生を対象とした国家試験対策を意識した専門必修科目で、1コマだけ、生理学について担当した。過去問ベースの練習問題を作成し、学生の理解を助けるとともに、学習意欲の維持に努めた。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理学実習（理学療法・作業療法）	○	8コマ	理学療法学科及び作業療法学科向けの内容で、学生が興味を持って実習できるように内容を工夫するとともに、基盤となる座学の知識と結びつくような指導を心掛けた。
2	生理学実習（健康行動）	○	8コマ	健康開発学科行動科学専攻向けの内容で、学生が興味を持って実習できるように内容を工夫するとともに、基盤となる座学の知識と結びつくような指導を心掛けた。
3	ヒューマンケア体験実習	○	2019.4-9	メイン科目責任者として第6グループを総括するとともに、総括・主任科目責任者を補佐した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	博士前期課程	通年	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 3名
2	博士後期課程	通年	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 10名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	埼玉県立大学における生理学・薬理学等の基礎医学科目に関する学習支援	通年	再履修の学生を中心に、授業時間外の補習授業の実施と学習支援のための指導を行っている。
2	博士前期課程における修士論文審査	通年	主査1名
3	博士後期課程における博士論文審査	通年	副査2名

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	こしがや市民大学創立20周年記念特別講座	越谷市	あなたの知らない"お薬"の世界	2019.9
2	熊谷市直実市民大学（創立20周年記念講演）	熊谷市	あなたの知らない"お薬"の世界	2020.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
2			
3			

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	専門基盤科目担当者会 会長		2019～2020年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター 所員		2019～2020年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会 副委員長		2019～2020年度
4	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会 委員		2019～2020年度
5	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会（動物部門） 副部門長		2019～2020年度
6	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会 部員		2019～2020年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			